春蠶收繭高は二百萬貫突破

昨年より一割六厘增收

縣下の本年春蠶收繭高は總數二百二萬三千百五十六貫（白繭種三十二萬二千三百六十貫、黃繭種百七十萬七百九十六貫）で前年の收繭高百八十二萬九千八百六十六貫に比し十九萬三千二百九十貫（一割零分六厘）の增收を示した旨九月七日縣統計課から發表された。右の樣に前年の收繭高に比し本春繭が增收を示したのは繭價高を見越し掃立數量が六萬九百三十瓦（三分一厘）を增加した爲と氣候が適順で桑樹の發育、蠶作共に良好だつたに因るものである。春蠶の郡市別表は左の如くである。（表中の單位ほ養蠶戶數は戶、掃立數量は瓦、收繭高は貫、前年對比は貫、△印は減）

	養蠶戶數	蠶種掃立數量	收繭高 白繭	收繭高 黃繭	收繭高 計	前年對比（△印減）
	戶	瓦	貫	貫	貫	貫
水戶	五〇	二、一二四	四五、四四四	一、〇三三	一、四八七	△ 一八五
東茨城	四、九六四	三七、七一〇	九、一二九	一四五、一六〇	一四五、二六〇	△ 四、一九
西茨城	二、六四〇	一三四、四四八	二一、七四一	五五、五五九	七七、三〇〇	七、三八八
那珂	二、五二二	一〇四、三八三	一八、〇三一	五〇、一五五	六八、一八六	三、一二九
久慈	二、八九一	八八、一二九	五、五五三	五七、〇三五	六二、五八八	△ 六五五
多賀	二八二	七、〇三三	一、九三二	三、〇〇三	四、九三五	△ 一、二八
鹿島	三、一七四	一三七、六九七	二、五四九	七五、四〇五	八六、九五四	三、四七四
行方	二、六五四	一三二、五八〇	一六、〇五四	六七、九六四	八四、〇一八	八、三九五
稻敷	六、七二四	三八四、八〇一	五八、九〇五	二〇三、九六九	二六二、八七四	二一、三五二
新治	九、四八四	四九一、〇一三	五二、四一〇	二九五、八五七	三四八、二六七	四四、八二五
筑波	七、二九七	四一二、四三五	二三、三六一	二五二、一六〇	二七五、五二一	三五、六六三
眞壁	四、七九九	二四四、一二八	六、九六六	一六一、九八七	一六八、九五三	一四、一九三
結城	六、三三〇	四〇三、五三〇	五、七三九	二五八、〇〇七	二六三、七四六	四四、四九六
猿島	二、四九三	一三二、九五八	三五、四八七	四九、八八四	八五、三七一	九、七三二
北相馬	二、六五七	一三八、六五七	一八、〇五七	六九、六三九	八七、六九六	一〇、〇一八
合計	五八、八四一	三、〇一二、六六六	三三三、三六〇	一、七〇〇、七九六	二、〇三三、一五六	一九三、二九〇

梨は減收

縣下收穫豫想高

本年八月一日現在に於ける縣下の梨豫想收穫高は二百十萬四千九百七十六貫で之を前年收穫高に比すれば十萬三千九百五十八貫（四分七厘强）の減少を示した。收穫が減少を豫想されたのは冬季暖氣に過ぎた爲開花が徒進し落花後甚だしい冷氣に襲はれて結實しないものが多かつたのと虫害があつた爲で郡市別に之を見れば左の如くである（△印は減）

郡市別	豫想收穫高	前年收穫高ニ比シ增減
水戶	六、〇〇〇貫	△ 一、四五〇貫
東茨城	三九、〇〇四貫	一五、三〇〇貫
西茨城	七〇、二〇九	一五、七四五
那珂	一、八三八	△ 一、七六三
久慈	二四、七四二	△ 五、七八六
多賀	七、七五〇	△ 七、三六三
鹿島	六〇、三〇六	五、二〇〇
行方	六、四四二	△ 一四九
稻敷	一一、一八二	一
新治	四九九、八一一二	△ 一六、一三八
筑波	三三、二二七	一二、五三七
眞壁	一、二〇二、四六四	△ 七三、九八五
結城	一一八、六九八	△ 二七、三二一
猿島	二、九一七	△ 二、二〇六
北相馬	二〇、三八五	△ 一六、五八〇
合計	二、一〇四、九七六	△ 一〇三、九五八

減收豫想の大豆作

作付反別は增加

縣統計課の調査に依る縣下の本年八月十五日現在に於ける大豆の栽培現在面積は一萬五千七百四十一町三段で前年作付段別に比すれば二百二十四町六段(零割一分四厘)を增加した而して之が豫想收穫高は十三萬六千二百五十八石で前年收穫高に比し三百二十七石(零割零分二厘)の減收豫想を見た、尙之を郡市別に示せば次の如し

(△印ハ減)

郡市別	栽培現在面積	前年作付ニ比シ增減	豫想收穫高	前年收穫ニ比シ增減
	一七・〇反	△五・九反	一七〇石	△五九石
水戸	一、八三九・三	△二五・三	一五、三三七	△一、七〇六
東茨城	五二二・一	△一六・七	四、〇三五	△三三〇
西茨城	一、五五六・〇	△一二四・一	一四、七〇〇	△五四九
那珂	一、六二六・四	△六三・二	一五、二九九	八六八
久慈	三二六・〇	△一三・七	二、九二四	△二九六
多賀	九九六・三	一二・二	七、八五五	二六八
鹿島	八四三・九	〇・六	四、七六四	△一、五三八
行方		七九・一	一〇、三五一	△一〇二
稻敷	一、二四二・二			
新治	一、二八一・四	△一三・四	九、七〇〇	△一、五二七
筑波	八二三・四	△九・九	九、〇三三	一、五〇六
眞壁	一、五〇二・九		一三、〇九一	七一七
結城	一、四三七・四	△八二・〇	一二、五四一	△一六四
猿島	六五七・八	△五・六	六、四九四	三六九
北相馬	一、一一〇・二	三一三・〇	一〇、〇八四	二、一八六
合計	一五、七四一・三	三四・六	一三六、一五八	△三七

ナタネ

作付面積は減少し收穫は增收

縣下本年のナタネ作付段別は千五百三十三町八段で前年作付段別に比すれば百十町九段(零割六分七厘)を減少した。而して收穫高は一萬七千四十九石で前年に比し四百六十六石(零割二分八厘)の增收を見た、之を郡市別に觀れば次の如くである。

郡市別	作付段別	收穫高	價額
	一・三反	一六石	二五六円
水戸	一七六・一	二、一六五	四七、五一四
東茨城	三三・九	三二〇	七、三一二
西茨城	二一三・九	二、八九八	六二、四〇二
那珂	四一・三	四一二	九、〇九五
久慈	四四三・五	一〇、一三六	二九、八二五
多賀	二九・八	三二九	七三八三
鹿島	四四三・五	九三、二五四	一六、〇三七
行方	二三八・一	五二、八一三	一六、六一三
稻敷	一二・三	二、三四五	四、四二八
新治	六一・一	七二六	一五、四三七
筑波	三七・四	一、五三三・八	三七二、六五〇
眞壁	六九・六	一七、〇四九	
結城	七七・一		
猿島	七七・三		
北相馬	二〇・九		
合計			

北日本統計大會

川崎課長一行出席

北日本統計大會は八月六日北海道小樽市花園小學校講堂に於て開催し中央官廳よりは水谷內閣統計局勞働課長、津田農林省統計課長、川澄商工省統計官、池田內務屬其の他の出席あり、各府縣統計課長及課員、市町村吏員、統計調査員等約六千名出席の上留岡北海道總務部長(長官不在の爲)座長席に着き左の宣言、決議、提出事項を議決し祝辭、祝電の被露ありて盛會裡に午後十二時十分終了した、本縣よりは川崎統計課長及成瀨屬の他市町村吏員、統計調査員より二十五名出席した

宣言

刻下緊急ノ要務ハ先ヅ國體ノ本義ヲ明カニシ健全ナル國民精神ノ基根ヲ培フト共ニ時代ノ要求ニ基ク庶制ノ革新ヲ斷行シ國家總動